

問1 複雑な海岸地形には、氷河によって削られたU字形の谷に海水が入り込んでできるものと、河川によって削られたV字形の谷が沈水してできるものがあります。北ヨーロッパで見られる前者の地形が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 青森公立入試 類似）

1. 氷河による強力な浸食作用によって形成された深い谷が、海面の上昇によって水没した。
2. 河川の浸食によってできた複雑な谷が、地殻変動による土地の沈降によって海面下に沈んだ。
3. 石灰岩が雨水や地下水によって溶かされたことで、複雑な凹凸を持つ海岸線が形成された。
4. 火山の噴火によって流れ出した溶岩が海に流れ込み、冷却されて固まることで複雑な地形となった。

問2 ヨーロッパ州が、他地域と比較して「一人あたりの二酸化炭素排出量が多い」一方で「人口増加率が低い」という統計的特徴を示す理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 産業革命以来の工業化によって経済が発展しエネルギー消費量が多い一方で、近代化に伴う少子高齢化が進行しているため。
2. 広大な熱帯雨林の開発により二酸化炭素が大量に放出されている一方で、食糧不足から乳幼児の死亡率が極めて高いため。
3. IT産業の成長により電力消費が急増している一方で、厳格な一人っ子政策が導入され人口抑制が行われているため。
4. 伝統的な牧畜業が盛んで家畜による温室効果ガスの排出が多い一方で、砂漠化の進行により居住可能な地域が減っているため。

問3 日本の九州地方では、11月頃に種をまき、翌年5月から6月にかけて収穫する小麦の栽培が行われます。イタリアにおいても、10月から11月に種をまき、6月に収穫するという、日本の九州地方と非常に似た時期に小麦を栽培する形態が見られます。このような栽培サイクルが一般的であるイタリアの大部分が属する気候区分は何ですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 地中海性気候
2. 西岸海洋性気候
3. 温暖湿润気候
4. 熱帯雨林気候

問4 混合農業の仕組みや特徴について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 栽培した穀物の一部を家畜の飼料とし、家畜の糞尿を肥料として耕地に還元する循環型の農業である。
2. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、冬の降雨を利用した小麦栽培を組み合わせる。
3. 大都市向けの乳製品を供給するため、穀物栽培は行わず乳牛の飼育と牧草の生産に特化する。
4. 季節によって家畜とともに低地と高地を移動し、自然の草地を効率的に利用する。

問5 EU諸国の賃金水準を比較した資料において、ドイツの月額最低賃金が1,498ユーロであるのに対し、453ユーロであったポーランドや275ユーロであったルーマニアなどの国々は、地理的にどのような地域に分類されますか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 東ヨーロッパ諸国
2. 北ヨーロッパ諸国
3. 南ヨーロッパ諸国
4. 西ヨーロッパ諸国

問6 ヨーロッパ連合（EU）加盟国の最低賃金を示した統計資料において、ドイツやフランス、ベルギーなどの西欧諸国はEU平均の約1000ユーロを大きく上回る一方、ポーランドやルーマニア、ブルガリアなどの東欧諸国は平均を大きく下回っています。このような経済格差があるなかで、EU域内で活発に見られる人口移動の傾向として、最も適切なものはどれですか。（2026年 神奈川公立入試 類似）

1. 賃金の高い西欧・北欧から、生活費の安い東欧へ労働力が移動している
2. 賃金の低い東欧から、より高い賃金を求めて西欧・北欧へ労働力が移動している
3. 農業が盛んな西欧から、工業化が進む東欧へ労働力が移動している
4. 内陸部の東欧諸国から、水産業が盛んな大西洋沿岸の国々へ労働力が移動している

問7 ヨーロッパにおいて、共通通貨ユーロの導入や域内での関税撤廃といった「市場統合」が推し進められてきた背景にある目的として、最も適切なものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. アメリカや中国などの経済大国に対抗できるよう、域内全体で巨大な単一市場を形成するため。
2. 域内各国の独自の通貨や文化を保護し、各国の国家主権をより強固なものにするため。
3. 工業化を抑制して農業中心の社会へと戻すことで、域内の食料自給率を100%にするため。
4. ロシア連邦からの天然資源の供給をすべて遮断し、域外の国々との貿易を停止するため。

## 答え合わせ・解説

- 
- 問1** **答え 1**  
**氷河による強力な浸食作用によって形成された深い谷が、海面の上昇によって水没した。**
- フィヨルドの形成には「氷河による浸食」と「海面の上昇（または土地の沈降）」の2つのステップが不可欠です。氷河が削った谷は底が深く壁が垂直に近いU字形になるため、海水が入り込んだ後も水深が深く、大型客船が接岸しやすいなどの特徴を持ちます。これに対し、川が削ったV字谷が沈水してできるのはリアス海岸（三陸海岸など）であり、成因が異なります。
- 
- 問2** **答え 1**  
**産業革命以来の工業化によって経済が発展しエネルギー消費量が多い一方で、近代化に伴う少子高齢化が進行しているため。**
- ヨーロッパ州は世界で最も早く工業化を達成した地域であり、現在も高い経済水準を背景に一人あたりのエネルギー消費量、すなわち二酸化炭素排出量が多い状況にあります。一方、社会構造の変化や価値観の多様化により出生率が低下しており、人口増加率はアフリカ州やアジア州などの成長地域に比べて著しく低くなっています。
- 
- 問3** **答え 1**  
**地中海性気候**
- イタリアの大部分は温帯の中でも、夏に乾燥し冬に雨が降る「地中海性気候」に属しています。この気候下では、冬の水分を利用して小麦を育てる形態が伝統的に行われてきました。九州地方での小麦栽培（裏作）と収穫時期が重なるのは、日本の場合、梅雨の長雨による品質低下や穂発芽（収穫前に芽が出てしまうこと）を防ぐため、梅雨入り前の乾燥した時期に収穫を終える必要があるという事情があります。どちらも「収穫期の乾燥」を重視している点が共通しています。
- 
- 問4** **答え 1**  
**栽培した穀物の一部を家畜の飼料とし、家畜の糞尿を肥料として耕地に還元する循環型の農業である。**
- 混合農業は、単に二つのことを同時に行うだけでなく、互いの利点を活用し合っています。ライ麦などの飼料作物で家畜を育て、その家畜から得られる堆肥（たいひ）を土壌の改良に用いることで、土地の肥沃さを維持しながら食料生産を行う合理的なシステムです。
- 
- 問5** **答え 1**  
**東ヨーロッパ諸国**
- ポーランドやルーマニアなどは東ヨーロッパに位置する国々です。これらの地域はかつて社会主義体制をとっていた歴史的背景もあり、ドイツやフランスなどの西ヨーロッパ諸国に比べて経済発展が遅れていました。EUへの加盟後は、その安価な労働力を武器に、西ヨーロッパ企業からの工場誘致が進み、経済成長を続けています。
- 
- 問6** **答え 2**  
**賃金の低い東欧から、より高い賃金を求めて西欧・北欧へ労働力が移動している**
- ヨーロッパ連合（EU）内では、加盟国間に依然として大きな経済格差が存在します。最低賃金が域内平均を大きく下回る東欧諸国（ポーランド、ルーマニア、ブルガリアなど）から、より良い待遇や賃金を求めて、平均を大きく上回る西欧諸国（ドイツ、フランスなど）や北欧諸国へ労働力が移動する現象が顕著です。これはEUが掲げる「人の移動の自由」という制度的背景も関係しています。
- 
- 問7** **答え 1**  
**アメリカや中国などの経済大国に対抗できるよう、域内全体で巨大な単一市場を形成するため。**
- ヨーロッパの国々の一つひとつが比較的規模の小さい国家であるため、単独では巨大な経済力を持つアメリカや中国との競争で不利になる傾向がありました。そこで、国境の壁を取り払って「一つの大きな市場」を作ることで、スケールメリットを活かした経済成長と国際的な発言力の強化を目指しました。これがユーロ導入や市場統合の最大の狙いです。
-